

# 経済日誌

8月

GPIFは年金積立金管理運用独立行政法人、Pはポイント、GDPは国内総生産、LCCは格安航空会社

国	内	県	内
1日	<b>19年度大企業設備投資額、8年連続増加の見通し</b> 日本政策投資銀行は、2019年度の大企業の国内設備投資額が、前年度実績比11.5%増の2兆5,745億円となる見通しと発表。	1日	<b>19年度本県の設備投資額、前年度比減少の見通し</b> 日本政策投資銀行南九州支店は、2019年度の本県の設備投資額が前年度実績比25.0%減の437億円となる見通しと発表。
2日	<b>18年度ふるさと納税寄付額、6年連続過去最多を更新</b> 総務省は、2018年度ふるさと納税による寄付総額が、前年度比約1.4倍の5,127億円と発表。	2日	<b>18年度ふるさと納税寄付額、都農町・都城市共に過去最多</b> 総務省は、2018年度ふるさと納税寄付額で、都農町が96億2,697万円が全国5位、都城市が95億6,234万円と同6位と発表。
2日	<b>19年大手企業夏賞与、2年ぶりに前年比減少</b> 経団連は、大手企業の2019年夏の賞与・一時金の最終集計で、組合員の平均受給額が昨年夏比3.44%減の92万1,107円と発表。	2日	<b>ミヤチク都農工場、EU輸出工場に認定</b> 厚生労働省は、(株)ミヤチク(都城市)の都農町の新食肉工場を、国内7カ所目のEUへの輸出可能な施設として認定したと発表。
2日	<b>4～6月期公的年金運用、2四半期連続黒字</b> 公的年金を運用しているGPIFは、4～6月期の運用実績が2,569億円の黒字と発表。	7日	<b>18年度本県国税滞納残高、2年連続前年度比減少</b> 熊本国税局は、2018年度の国税滞納状況で、本県の滞納残高は、前年度比2億2,500万円減の32億9,900万円と発表。
6日	<b>6月消費支出、7カ月連続前年同月比増加</b> 総務省は、6月の2人以上世帯の家計調査で、1世帯あたりの消費支出が実質で前年同月比2.7%増の27万6,882円と発表。	8日	<b>18年度売上高100億円超本県企業数、10年ぶりの高水準</b> 東京商工リサーチ福岡支社は、2018年度の単体売上高が100億円を超えた本県の企業数が、前年度比5社増の29社と発表。
6日	<b>6月景気一致指数、3カ月ぶりに前月比低下</b> 内閣府は、6月の景気動向指数(速報)で、景気の現状を示す一致指数が前月比3.0P低下の100.4と発表。	8日	<b>本県最低賃金、28円引き上げ答申</b> 宮崎地方最低賃金審議会は、本県の最低賃金を現在の762円から28円引き上げ790円とするよう、宮崎労働局に答申。
6日	<b>18年度食料自給率、過去最低の水準</b> 農林水産省は、2018年度のカロリーベースの食料自給率が、前年度比1P低下の37%と発表。	8日	<b>今春県内高卒者の県内就職率、4年連続増加</b> 文部科学省は、2019年度の学校基本統計(速報値)で、今春に県内の高校を卒業した人の県内就職率が前年度比1.1P増の57.9%と発表。
7日	<b>ふくおかFG、ネット銀行設立へ</b> ふくおかフィナンシャルグループ(FG)は、地方銀行では初となるインターネット銀行を設立するため、準備会社を立ち上げると発表。	9日	<b>18酒造年度本県焼酎出荷量、5年連続日本一</b> 日本酒造組合中央会(東京都)は、本県の2018酒造年度(18年7月～19年6月)の本格焼酎出荷量が12万9,039キロリットルと発表。
8日	<b>19年上半期国際収支黒字額、前年同期比減少</b> 財務省は、2019年上半期の国際収支速報で、経常収支の黒字額が前年同期比4.2%減の10兆4,676億円と発表。	9日	<b>18年度本県決算見込み、歳入・歳出ともに前年度比減少</b> 県は、2018年度一般会計決算見込みで、歳入は5,804億733万円、歳出は5,680億8,809万円、ともに前年度比1.1%減と発表。
8日	<b>7月街角景気、3カ月連続前月比悪化</b> 内閣府は、7月の景気ウォッチャー調査で、街角の現状判断指数(季節調整値)が前月比2.8P低下の41.2と発表。	9日	<b>18年度本県病院局決算見込み、4年ぶり赤字</b> 県病院局は、2018年度の県立3病院の決算見込みが純損失515万円、4年ぶりの赤字と発表。
9日	<b>4～6月期GDP、3四半期連続前期比プラス</b> 内閣府は、2019年4～6月期のGDP(季節調整値)速報値が、実質で前期比0.4%増、年率換算で1.8%増と発表。	10日	<b>18年度県内MICE開催件数、過去最多</b> 県は、2018年度に県内で開催された「MICE(マイス)」と呼ばれる大規模な学会や企業の会議、展示会などの件数が、過去最多の229件と発表。
9日	<b>19年上半期農産品輸出額、上半期として7年連続過去最多</b> 農林水産省は、2019年上半期の農林水産物・食品の輸出額が、前年同期比2.9%増の4,486億円と発表。	14日	<b>LCC宮崎ーソウル線、来月から約2カ月半運休</b> 県は、LCCの韓国・イースター航空が、現在週3往復運航している宮崎ーソウル線を、9月19日～11月30日の間運休すると発表。
19日	<b>7月貿易収支、2カ月ぶり赤字</b> 財務省は、7月の貿易統計(速報、通関ベース)で、輸出から輸入を差し引いた貿易収支が2,496億円の赤字と発表。	22日	<b>宮崎産経大とエフエム宮崎、連携協定締結</b> 宮崎産業経営大学と(株)エフエム宮崎は、地方創生と地域経済の発展、人材育成などを目的として、包括的連携協定を締結。
28日	<b>18年漁業就業者数、過去最少を更新</b> 農林水産省は、2018年漁業センサスで、内水面漁業を除く漁業就業者数が、前回調査比16.0%減の15万2,082人と発表。	30日	<b>19年産本県早期水稲作柄概況、「やや不良」</b> 九州農政局は、本県の2019年産早期水稲作柄概況(8月15日現在)で、作況指数が「やや不良」の96と発表。